

## 理科系の作文技術のレポート設計

### 1. 基本方針の考え方

以下のような大まかな計算をした後で段落の構成案を検討する。

- 要求されているレポートの長さは 1200 字。
- 一文の長さの目安は 33 字(3 文 = 100 字)。従って、レポートは 36 文程度の長さになる。
- 一段落の長さの基準は 4~10 文(文書の長さによって異なる)。レポート全体が 36 文程度なので、段落当たり 6 文程度(200 字程度)とする。従って、6 段落程度でレポート全体を構成することにする。
- 「まえがき」と「むすび」の節は各 1 段落。残る段落数は 4 程度なので、2 つの節に分けて各節に 2~3 個の段落をおくことにする。

### 2. 理科系の作文技術のスライドの分類

#### まえがき

- タイトルスライド
- 理科系の仕事の文書とは
- 追加：文書の目的

#### 文書作成の基本手順

- 準備作業
- 文章の組み立て
- 文書の全体構成

#### 文書作成の心構え

- 作文に当たっての心構え
- 執筆の際の心得

#### 節に関する注意

- 「序論」の目的
- 「本論」の記述順序
- 「本論」の論理展開
- 「結び」について

#### 段落に関する注意

- パラグラフ(段落)
- 文の構造と文章の流れ

#### 文に関する注意

- 事実と意見
- 分かりやすい文
- 簡潔な文

#### むすび

- おわりに

- スライドが 7 つに分類されたので、それぞれの分類毎に段落を作成することにする。
- 「まえがき」、「むすび」はそれぞれで 1 つの節にする。
- 「文書作成の基本手順」と「文書作成の心構え」は文書の全体構成に関することなので、1 つの節にまとめる。
- 「節に関する注意」、「段落に関する注意」、「文に関する注意」は文書の構成要素に関することなので、1 つの節にまとめる。

### 3．構成案

タイトル：理科系の作文技術

節1：まえがき

- この文書では、理科系の仕事の文書を系統的に書く方法を説明する。

節2：文書の全体構成

- 理科系の仕事の文書を作成する際の基本手順は以下の通りである。
- 理科系の仕事の文書を作成する上での心構えを列挙する。

節3：文書の構成要素に関する注意

- 文章を構成する節にはそれぞれ役割がある。
- 節を構成する段落を正しく構成するためには、いくつかの注意事項に従わなければならない。
- 段落を構成する文を書く際には、以下の注意事項に従わなければならない。

節4：むすび

- 良い文書を書くためには、継続的な勉強と努力が必要である。